

アルプススチール株式会社

部署の垣根を越えて活動

育児・介護による離職を防ぎ、女性が管理職を目指せる職場へ

女性管理職比率向上取組モデル

業種：製造業

従業員数：168名（男性 121名、女性 47名）

主な事業：スチール製オフィス家具製造

Before

〔企業が抱える課題〕

- 法律を上回る育児関係の制度等の会社の良い取組が、社員へ十分周知されているとは言えない。
- 社員の定着率が高かったのが、低下傾向が出てきた。
- 育児や介護を抱えながら活躍している社員はいるが、部署が異なる社員は、その状況を知る機会がない。



本社所在地：名古屋市中川区

Consulting・Effort

取組① 管理部門と製造部門の両方の社員での検討

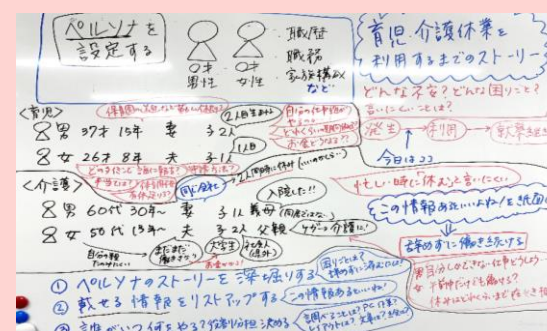
管理部門3名と製造部門6名の計9名でチームを構成し、様々な所属の状況を踏まえ、課題の共有、取組の検討を実施。



意見を出しやすくするため、メンバーを2つの班に分け、作業等を進めました。
構成人数を少なくすることで、更に活発な意見交換が行われました。

取組② ペルソナ（仮想人物像）を設定した課題の深掘り

育児・介護を抱えるペルソナ（仮想人物像）を設定し、ストーリーを掘り下げながら、ペルソナに必要な対応策等を検討した。



ペルソナにより、具体のイメージが湧き、当人になったつもりで、不安なことや、困ること等を挙げる事ができました。

取組③ 育児休業取得者、介護中の社員へインタビュー

生の声を聞くことで、“自分ごと”としてイメージできたり、より具体的な課題の深掘りにつなげることができました。

取組④ 「育児休業」「介護休業」をまとめた資料の作成

育児休業について

ライフステージが変化によって悩みや疑問も増えます。そこでここではベテラン「育児の人間」が知るべきことをわかりやすく解説します。

育児休業取得者へのインタビュー

育児休業の取得はどうなりましたか？
産前から100日間は給料の9割が支給があり、その後は2割になります。ちなみに産後前半年間の給与はありません。

給与が低い期間も育児給付金から補填されている育児休業給付金は支払うんですか？
社会保険料は産後前半年間は免除されますよ。

復帰することに関して不安はありますか？
やっぱり不安はあります。職場の人とどう話したらいいのかわからなかったり、戻りの人が話さずに入られてくるんじゃないかと不安です。

専業主婦として、職場に復帰したことによるメリットはどんなことがありますか？
子供を保育園に預けられるようになったのは、実家でも預けられるようになります。一日中子供と一緒にいるのも実はとても大変なことです。それとお金の心配が少なくなります。

目標

- ☆育児しやすい職場の環境整備
- ☆取得の意、意思の届かない不安を解消し、意欲を高める。
- ☆多能工の育成
- ☆育児休業取得者、特定の人物だけに負担が集中しないように！
- ☆取得期間の延長化
 - ・男性の育児休業の取得期間を継続的でもよいので2週間～1ヵ月を目指す！（現状は1週間程度）

制度の紹介だけでなく、「提出書類と妊娠から育児休業までのタイムスケジュール」「Q&A」「育児休業取得者、介護中の社員へインタビュー」「上司のコメント」「目標」等を記載しています。

取組⑤ 「現場ミーティング」による全社的な周知

部署毎のミーティングにおいて、作成した育児・介護資料の読み合わせを行い、制度の周知を実施。参加者は、付箋を使って、意見・感想を提出。



掲示やメールによる周知だけでなく、リーダーから考えを伝え、お互いの顔を見て話し合うことで、理解がより深まります。

日程・担当者・方法まで具体的に決めて宣言しておくことで、忙しさに流されない計画ができあがります。

取組⑥ 多能工の人材育成を促進させる取組の検討

休業等で欠員が出た際に、他部署から応援できる体制を作るため、社員の長期不在時のシュミレーションの実施等を計画。

企業からの“声”

- 働きやすい職場を作るには、社員一人一人が行動し、自分たちで作っていく必要があると感じた。
- 現場の若手女性社員のとても良い経験になり、自信に繋がった。
- 今回参加した女性社員を見本として、今後、このような取組に積極的に参加する社員が増えることを期待している。

アドバイザーからの“メッセージ”

管理部門と製造部門という違う環境の人たちが、共通のテーマを見つけて活動してきました。初めは意見の出にくかったメンバーも、活動が具体的になるにつれ、活発に意見を出せるようになっていきました。制度周知のための資料をつくるという「ものづくり」のアプローチを軸に、どんどん本質的な議論が深まり、社内の声を集めたり、それを基に社内体制の整備までつなげたりすることができました。さらなる変化を楽しみにしています！